

編集後記

今回、編集長として『飛翔』に携わらせて頂き、非常に貴重な経験をする事が出来ました。至らない点も数多くあったと思いますが、編集員も含め協力して下さいました全ての方に感謝しております。ありがとうございました。

坂田彩夏

今回の『飛翔』作成にあたって、初めて本格的に編集をする立場を経験しました。以来からレイアウトまでの工程の中で、アドバイスをもらいながら自分自身の課題と向き合うことができました。『飛翔』作成に携わって頂いた皆様、ありがとうございました。

小野晴香

今回『飛翔』の編集に携わって文字おこしなど初めて経験することが数多くあり、編集をするということ自体への難しさ、大変さを感じる事ができました。

武田祐宜

普段、授業でしかお会いすることのできない教授とお話ができる貴重な機会だった。授業では聞けない教授個人の考えを聞きたいなら直接赴くべきだということを学んだ。

岩西香穂

『飛翔』の編集員をやって良かったと思います。一番の理由は教授にインタビューをすることが出来たことです！自分の興味のある分野を専門とする教授のお話は勉強になるものばかりでした。自分のあまり詳しくない分野の教授のお話からも学ぶことはありました。このように貴重な体験ができたことは自分のためになりました！

坂崎結萌

今回もたくさんの体験をさせてもらいました。ありがとうございました。

佐藤志穂子

OGさんの取材では、自分の興味のある分野についてたくさん聞けたので、良い勉強になりました。感謝しています。それと、私の書いた「飛翔な日々」読んでください。今回は手応えがあります。

上原由実子

研究室紹介ではインタビューや編集の大変さがあり、学ぶこともあり、特集では様々な企画を考える楽しさがあり、様々なことを感じながらこの『飛翔』を作り上げることができました。たくさんの人との出会いや体験をさせてくれた『飛翔』に感謝しています。

松崎明日香

今回は、先生のインタビューに行きました。先生の研究室に山積みになっている個性溢れるグッズやDVD、本に囲まれて色々なお話を聞くことができ楽しかったです。

森脇実穂

授業の課題やサークルや留学の準備やら、やりたいことがたくさんあるのに自分の能力が追いつかなくて自己嫌悪に陥るばかりです。それでも先輩や教授の方々からお話を聞かせていただくと「頑張らない」と思います。頑張ります。

芳田愛実

この一年間『飛翔』の編集に携わる中で、気になっている先生方や、編集委員をしていなければ一生関わることがなかったであろう総合科学部の先輩方とお話することができました。中でも、他の編集委員とともに京都に取材に行ったのは懐かしくいい思い出です。

『飛翔』編集委員をやって良かったと思います。このような貴重な体験をさせてくれた『飛翔』に感謝いたします。より多くの方々が、私たちが作ったこの『飛翔』を手にとってくれたら、とても嬉しいです。

松本光代

『飛翔』の編集は二回目ですが今回もたくさんの人に助けていただきました。インタビューを受けてくださった方々、一緒のグループだったみんなにこの場を借りて感謝申し上げます。

松林美希

今回、班活特集を書いた過程で一番思ったこと。それは、班活って意外と出来ること多くね！だった。ご飯を作ったり、ゲームをやったり、罰ゲームを食らったり、遠出したり。僕も班活でやったことがないことが出てきて、とても楽しかった！

石原 昂

後期での『飛翔』活動について、始めどのようなことをするのか自分は分からず、部活をしている身でありながら、同じ『飛翔』活動をするメンバーに迷惑がかからないか、部活をしてもできるのかなど、不安はあったものの、後期では雑誌の編集に取り組むと聞き、同時にどのようなことをするかなど興味でもありました。

実際にインタビューの文字起こしをすることで、雑誌を作るというのは色々な作業の段階を経て、色々な人の手が加わっていくことで作り上げられているのだなと思い、実際に自分が雑誌などを読むときにどのような手が加えられているかを知る良い機会となりました。ありがとうございました。

森本 恒

このような雑誌の編集に携わらせていただいたのは、『飛翔』が初めてでした。右も左も分からなかったのですか、先輩方やみんなのおかげで、取材先について話し合ったり、文字起こしをしたりなど、今までしたことないことをたくさん出来、とてもいい経験をさせていただきました。取材を受けてくださった皆様、先輩方、28の皆さん本当にありがとうございました。

焼家希美

28だけ…ということで不安もありましたが、頼れる編集長・副編集長のおかげで何の心配もなく活動できました。ありがとう！そして、取材を受けてくださった方々、興味深いお話をありがとうございました。

石松雄我

『飛翔』第91号の作成にご協力くださったみなさま、お疲れ様でした。インタビューでは人と人とのつながり、多様な視点に触れることの重要性を複数の方が説かれていました。なかには『飛翔』のインタビューであるからこそ、学生さんとできる話題もあると話されている先生もおられました。『飛翔』が教員と学生や学生同士のつながりの契機になることを願っています。

広報・出版委員会（飛翔担当） 的場いづみ

『飛翔』91号の編集を担当された皆様、お疲れ様でした。今号は年度末にかかる編集となり、お忙しい中作り上げて下さりありがとうございました。時間のない中、レイアウトや企画を練ってくださったことが良く伝わる仕上がりになっていると思います。先生方へのインタビューが後半かなりくだけた口調になっていて、先生方の人間としての魅力を引き出しているかも、と感じました。「激怒の広島大学」なかなか深い言葉ですね！

広報・出版委員会（飛翔担当） 鈴木俊哉

まずは、今回の『飛翔』発行が大幅に遅れましたことをお詫びいたします。焦った私の問い合わせに対応してくれた編集長の坂田さん、ありがとうございました。その他にも、編集担当の学生さんやご協力くださった先生方のおかげで何とか発行することができました。この場を借りてお礼申し上げます。

総合科学研究科支援室（学生生活担当） 日山 玲

School of Integrated Arts and Sciences

総合科学部報『飛翔』

2017年春季発行 通巻91号

広島大学

総合科学研究科・総合科学部

広報出版委員会

〒739-8521 東広島市鏡山1-7-1

TEL 082-424-6319